

「'patina' 展」 'patina' exhibition

代表 井生文隆* Fumitaka Io
 平川和明** Kazuaki Hirakawa
 中谷昭子*** Akiko Nakatani

1. はじめに

地球環境時代の社会では、「人」と「モノ」と「環境」の関係において、「価値の向上と持続性」を追究したタイムレスデザインの創出が求められている。筆者は1996年、フィンランド（国立ヘルシンキ芸術デザイン大学）に研究留学した際に、自然との暮らしの営みの中に培われ、「人」と「モノ」と「自然」の関わりを融合させて育んできたフィンランドデザインが有する「サステナビリティ」について研究成果を得た。以降、フィンランドのデザイナーと共に、「地球環境のための素材活用」をテーマにデザイン活動を取り組んできた。

今回の展覧会は、2007年に開催した'sulo'展を更に発展させ、森林の環境保全に関わりを持つ地域資源である「竹」と地域素材である「和紙」の活用をテーマとしたプロジェクトを企画プロデュースし発表するものである。

作品は、2002年から萩商工会議所（山口県萩市）よりの受託研究として継続してきた「竹」と徳地で生産されている「和紙」を主な素材とした生活用品などを提案することで、地域の産業創出・振興、デザインをとおしての地球環境への貢献を目的としている。

2. 展覧会趣旨（京都展案内状より）

"patina"はラテン語で「時の恵み」という意味。竹と和紙という自然の恵みによる素材を使って、時の流れにも色褪ない魅力的なデザインを探る展覧会です。

3. 参加デザイナー

【フィンランド】

リトヴァ・プオティラ：ウッド・ノーツ社代表・デザイナー

ハンヌ・カホネン：クレアデザイン代表・デザイナー

タパニ・アアルトマー：グラフィックデザイナー

ソニー・ナカイ：イン・デザイン代表・デザイナー

ペッカ・ハルニ：プロダクトデザイナー
 イーヴァ・ウォーネル：クラフトデザイナー
 ゲーリー・ウォーネル：マルチデザイナー
 ティモ・リパティ：Helsinki Media フォト・ディレクター

【日本】

井生文隆：山口県立大学教授、フィンランドヘルシンキ芸術デザイン大学客員研究員（1996、2005）

金氏脩介：京都嵯峨芸術大学教授、フィンランドラハティデザイン大学客員研究員（1996）

辻 勇佑：京都嵯峨芸術大学観光デザイン学科講師

平川和明：LB Furniture Works, フィンランドヘイノラ工芸大学（2002-04）、山口県立大学大学院国際文化学研究科修了（2006）

溝内健吾：LB Furniture Works, 2002年山口県立大学環境デザイン学科卒業

中谷昭子：山口県立大学大学院国際文化学研究科1年、フィンランド国立ラップランド大学院留学中

4. 展覧会期間/場所

- ◆ 2008年1月30日（水） - 2月3日（日）
 山口市民会館展示ホール（山口市）
- ◆ 2008年5月13日（火） - 18日（日）
 新風館3Fトランス・ジャンル（京都市）

5. 主催

山口県立大学井生+京都嵯峨芸術大学金氏・辻研究室

6. 後援

フィンランド大使館、山口市、山口日本フィンランド協会、関西日本フィンランド協会、(社)日本インダストリアルデザイナー協会、(社)京都デザイン協会、山口県立大学、京都嵯峨芸術大学

* 山口県立大学大学院国際文化学研究科教授

Professor of Graduate School of International & Cultural Studies, Yamaguchi-Prefectural University

** 山口県立大学大学院国際文化学研究科2006年修了、企業組合LB Furniture works 専務理事

2002-06 Graduate School of International & Cultural Studies, Yamaguchi-Prefectural University, LB Furniture works Director

*** 山口県立大学大学院国際文化学研究科2年

Student of Graduate School of International & Cultural Studies, Yamaguchi-Prefectural University

patina
Design of leading value

Ritva Puustila
Hannu Kähkönen
Tapani Aartomaa
Pekka Harri
Eeva Wornell
Gary Wornell
Timo Ripatti
Sonny Nakai
Fumitaka Ito
Shusuke Kareuz
Yusuke Tsuji
Kazuaki Hirakawa
Kengo Mizouchi
Noraki Yamashita
Akiko Nakatani

stamp post card

Patina 展 様々な造形文化のなかでもデザインは重要なもののひとつですが、時代や流行を超越し、人々の生活に寄り添い、永く愛用して使ってもらえるデザインの価値を再認識することが求められています。また、自然において短期間で変化する色や質感、人々の自然の営みや季節を反映した色や質感をデザインで表現し、独自の視点からデザインを創り出し、愛されるための能力の本質を再発見します。フィンランドと日本文化の融合をテーマとし、独自の視点から素材を用いた作品により技術的に発見し、地域活性化への貢献を行うべく活動していきたいと思っております。

【日時】2008年1月30日(水)~2月3日(日)
10:00~18:00 ※1月30日のみ15:00閉場(入場無料)

【場所】山口市民会館展示ホール 山口山中央2丁目5番1号

【参加アーティスト】Ritva Puustila / Hannu Kähkönen / Pekka Harri / Tapani Aartomaa / Sonny Nakai / Eeva Wornell / Gary Wornell / Timo Ripatti / Fumitaka Ito / Shusuke Kareuz / Yusuke Tsuji / Kazuaki Hirakawa / Kengo Mizouchi / Noraki Yamashita / Akiko Nakatani (注)

【注】山口県立大学(プロダクトデザインスタジオ)【後援】フィンランド大使館、山口県、山口日本フィンランド協会、関西日本フィンランド協会、日本フィンランド協会、山口県デザイン協会、山口県立大学、京浜東北線山口駅、山口県立大学学術情報センター

山口展案内状 (デザイン: Sonny Nakai)



山口展会場

フィンランドと日本文化の融合と交流
patina 展 京都 2008

post card

patina 展 京都 2008
2008年5月13日(火)~18日(日)
11:00am~5:00pm
新風館3Fトランスジャンル

「patina」とはラテン語で「磨き」という意味。竹と和紙という自然の恵みによる素材を磨いて、磨きだすように色や質感を磨きだす。磨きだすように色や質感を磨きだす。磨きだすように色や質感を磨きだす。

●参加アーティスト ●Ritva Puustila / Hannu Kähkönen / Tapani Aartomaa / Pekka Harri / Eeva Wornell / Gary Wornell / Timo Ripatti / Fumitaka Ito / Shusuke Kareuz / Yusuke Tsuji / Kazuaki Hirakawa / Kengo Mizouchi / Noraki Yamashita / Akiko Nakatani

新風館 SHIN-FUJI-KAN

京都展案内状 (デザイン: 辻 勇佑)



京都展会場

**tila**

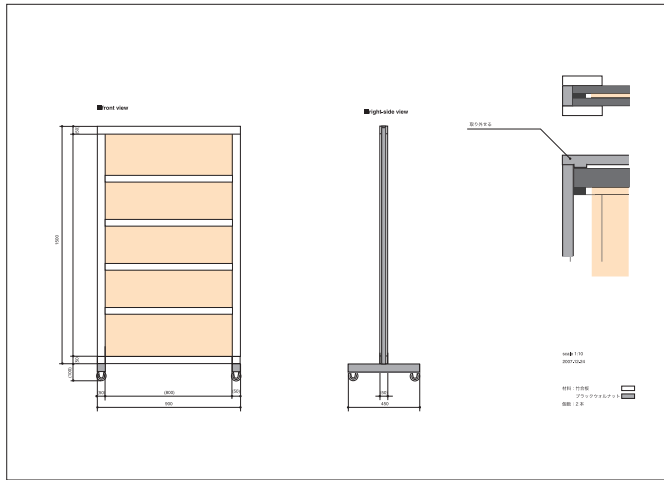
ティラ「tila」はフィンランド語で「空間」という意味で、心地よい空間を醸し出すパーティションを提案している。材料：竹合板・ウォルナット・紙布（和紙）

デザイン：井生文隆 制作：平川和明

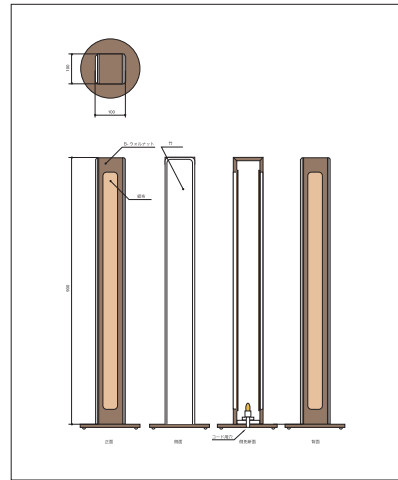
**linja**

リンヤ「linja」はフィンランド語で「直線」という意味で、暖かい直線の光の照明を提案している。材料：竹合板・ウォルナット・紙布（和紙）

デザイン：井生文隆 制作：平川和明



tila 図面



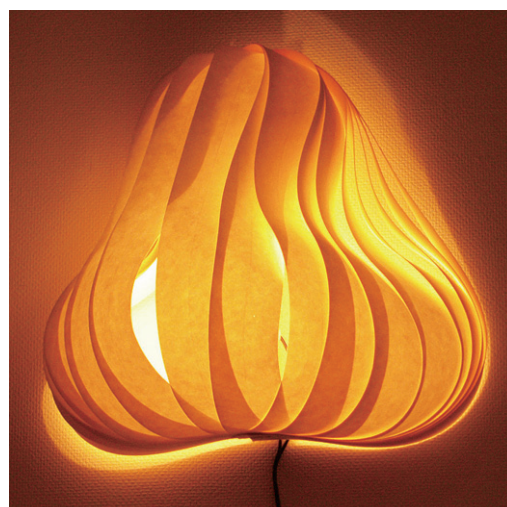
linja 図面



rasia-light



lakana-light
 ラシア「rasia」はフィンランド語で「箱」、ラカナ「lakana」は「シート」という意味で、木肌の美しい竹合板と紙布（和紙）を素材とした照明
 デザイン・制作：平川和明



kukka-light
 クッカ「kukka」はフィンランド語で「花」という意味で、和紙のテープを素材とした照明
 デザイン・制作：中谷昭子